

Q₅ 先生は授業のほかにどんな取り組みをしていますか?



A 先生を目指す学生に「浜松の先生」の魅力を伝えるガイダンスを開催しています。

優れた資質と能力をもった人材を教員として採用するため、県内外の大学生や市内の中学生・高校生を対象に、「はままつ先生」プロジェクトと銘打ってガイダンスを開催しています。現在、市内で活躍中の若手教職員がパネリストとなって、集まった「先生のタマゴ」たちに、教育現場の「今」や熱い想いを語るほか、相談コーナーでは進路アドバイスを行ったり、仕事の魅力などを語り合ったりしています。浜松で健やかに育った人材が市内外で学び、優れた人材となって「はままつ先生」として活躍してくれることを願い取り組んでいます。

問い合わせ先: 教職員課 ☎457-2408



教育現場のリアルな情報も飛び出す



各担当に分かれて個別進路相談

A これからの時代に必要な教育ができるよう充実した研修を受けています。

浜松教師塾

北区にある教育センター(P5-6マップ参照)では、教員の資質能力向上を図る研修を行っています。その取り組みの一つに「浜松教師塾」があります。ベテラン教員が師範、若手教員が塾生となって塾(師範1人、塾生2人)をつくります。互いの授業を見学し合ったり、教育や人生について語り合ったりして師弟関係を育む中で、指導技術を身につけ、情熱と使命感をもった教員を育てることを目指した取り組みです。



教師塾では若手教員も一生徒となる。

英語教育研修

平成23年度から、小学5、6年生で外国語活動の授業が始まりました。教員はグローバルな視点に立って指導できる能力を身につけることが急がれています。このため、平成26年度から小学校の教員を海外に派遣し、英語教育に関する知識や指導力を高める研修を行っています。平成27年度は夏期の4週間、16人がマレーシアの大学や研修施設で専門的な英語の授業を受けたり、現地小学校で日本文化を紹介したりする研修プログラムを実践。「より実践的な力が身についた」「英語によるコミュニケーションに自信がついた」など研修の成果が報告されています。



英語が世界への扉を開く鍵であることを実感する。

ICT研修

学習に必要な画像をスクリーンやパソコンなどに映したり、音楽や音声を聴かせたりするICTを活用した授業は、機器を活用するタイミングやその内容、素材を教員が十分吟味し、準備・活用することで児童生徒の学力向上につながります。また、児童生徒が学習内容を調べたりまとめたり、研究発表をする際にもパソコンやインターネットなどを活用する機会が多くなります。教員は適切な指導を目指して、専門家によるICTの現状や効果的な機器の活用方法を学んでいます。

※1 「ICT」とは、Information and Communication Technologyの略でコンピュータや情報通信ネットワーク(インターネット等)などの情報コミュニケーション技術のこと。

先生もやらまいか
「はままつ人づくり」のためにがんばっています。
〈教職員最前線〉

A 副読本やマナー読本を編集しています。

教育委員会が発行する「のびゆく浜松」は、市内すべての小・中学校で使用する社会科副読本です。最新の資料と写真を用いながら、郷土浜松の自然や地理、産業、歴史、さらに文化や政治の仕組みまで、さまざまな角度から理解できるよう現職の先生たちが編集しています。初版から60年、浜松の児童・生徒は常に新しい「浜松を学ぶ教科書」として改版を重ねるこの副読本で、郷土を学んでいます。「はままつマナー」は児童生徒に「人を思いやる気持ち=マナー」を身につけてほしいという思いから作成された冊子です。これらは、市民の皆さんも郷土を再発見したりマナーを見直したりできる内容となっていますので、ご一読ください。

問い合わせ先: 指導課 ☎457-2411



「のびゆく浜松」は市内図書館や協働センターで閲覧できます。「はままつマナー」は市のホームページからダウンロードできます。